

## 第8次交通安全基本計画

### 基本理念(抜粋)

- ・人命尊重の理念に基づき、究極的には交通事故のない社会を目指す。
- ・欧米諸国と比較し、交通事故死者数に占める歩行者の割合が高く「人優先の交通安全思想の下、歩道の整備等により歩行者の安全確保」を図ることが重要

## 対策

### 4つの視点

#### 少子高齢社会への対応

・今後の急速な高齢化を踏まえると、高齢者にとって、安全で安心な交通社会の形成が必要である。  
・安心して子どもを生み、育てることができる社会を実現するためには、子どもを交通事故から守る対策が一層求められる。

#### 国民自らの意識改革

・交通社会に参加するすべての国民が、交通事故のない社会を目指し、意識を再確認すべきである。  
・住民が、自ら交通安全に関する活動にかかわり、積極的に関与していくような仕組みづくりが必要である。

#### 歩行者の安全確保

・我が国では、交通事故死者数に占める歩行者の割合が3割を超え、欧米諸国と比較して高い割合となっている。  
・人優先の考えの下、通学路、生活道路、市街地の幹線道路等において歩道の整備等による歩行空間の確保を一層積極的に進めるなど、歩行者の安全確保を図る対策を推進する。

#### ITの活用

・ITは、人間の認知や判断等の能力や活動を補い、不注意によるミスを打ち消し、被害を最小限にとどめるなど、交通安全への貢献が期待できる。なかでも、ITSの取組を推進する。

## 国が目指している方向性

### 死者削減数値目標

平成24年までに、交通事故死者数を全国で5,000人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す。

平成22年までに、全国5,500人以下を目指す。石川県は58人以下を目指す。

石川県 H16 65名死亡、H17 75名死亡

## 去年は事故件数・死傷者数ともに減少

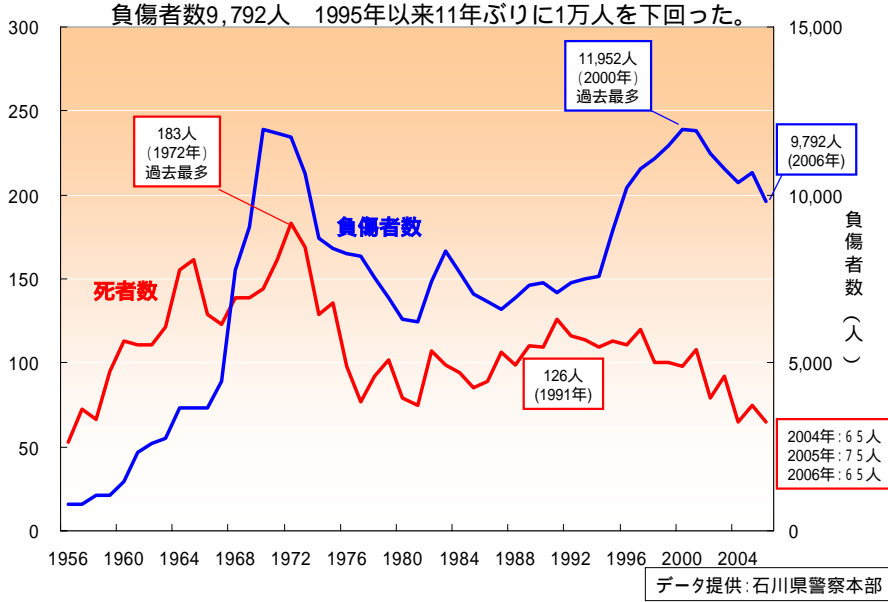
平成18年12月31日現在

### 石川県内交通事故発生状況

区別	年別		増減	
	H18	H17	人	%
発生件数	7,886	8,608	722	8.4
死者数	65	75	10	13
国が管理する国道	8	23	15	65
負傷者数	9,792	10,682	890	8.3

## 石川県の交通事故死者数と負傷者数の推移

2006年 死者数 65人 統計史上 2 番目の少なさ。過去最悪1972年の35.5%



## H15を100とした全国の死者数削減率

